

2 主要業種の動向

(基準年の生産ウェイト上位8業種の動向(全19業種のウェイト計10,000))

(1) 鉄鋼業

- ① 生産(付加価値額ウェイト770.9 生産19業種中4位)
27年の生産は92.1で、前年比1.2%増と2年連続の上昇となった。
これは、鋼帯、鋼板などは低下したが、
銑鉄、鋼半製品などが上昇したことによる。
- ② 出荷(出荷額ウェイト1093.9 出荷19業種中3位)
27年の出荷は96.0で、同2.5%減と3年ぶりの低下となった。
これは、特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼半製品などが上昇したが、
鋼帯、鋼板などが低下したことによる。
- ③ 在庫(在庫額ウェイト1948.0 在庫18業種中1位)
27年の在庫は115.4で、同2.7%減と2年連続の低下となった。
これは、銑鉄、鋳鋼品などが上昇したが、
鋼半製品、鋼帯などが低下したことによる。

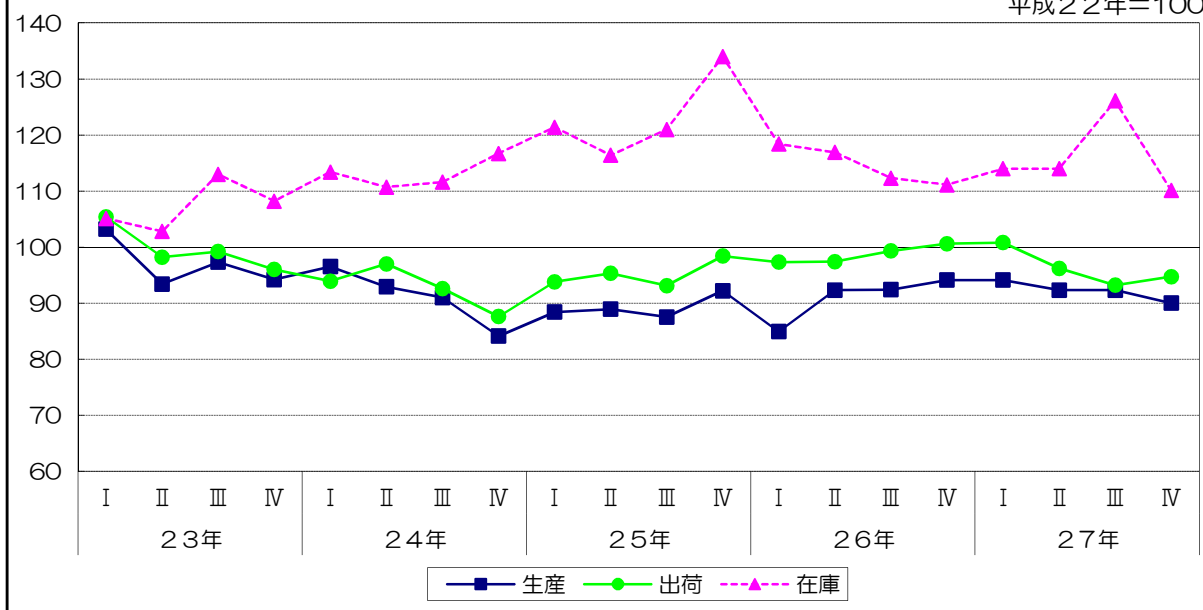
鉄鋼業の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	96.8	91.0	89.1	91.0	92.1	94.1	92.3	92.3	90.0
前期(年)比	▲3.2	▲6.0	▲2.1	2.1	1.2	0.0	▲1.9	0.0	▲2.5
前年同期比	-	-	-	-	-	12.2	▲1.0	▲0.5	▲4.6
出荷	99.4	93.2	95.0	98.5	96.0	100.8	96.2	93.2	94.7
前期(年)比	▲0.6	▲6.2	1.9	3.7	▲2.5	0.2	▲4.6	▲3.1	1.6
前年同期比	-	-	-	-	-	7.6	▲2.5	▲9.5	▲5.4
在庫	111.0	119.8	140.2	118.6	115.4	114.0	114.0	126.1	110.1
前期(年)比	1.8	7.9	17.0	▲15.4	▲2.7	2.6	0.0	10.6	▲12.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲4.2	▲2.9	13.5	▲2.7

鉄鋼業の推移(季節調整済指数)

平成22年=100



(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト588.7 生産19業種中6位）
27年の生産は115.9で、前年比1.4%減と4年ぶりの低下となった。
これは、飲料用缶、鉄塔などが上昇したが、
橋りょう、金網などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト459.1 出荷19業種中6位）
27年の出荷は116.8で、同0.9%減と4年ぶりの低下となった。
これは、飲料用缶、鉄塔などが上昇したが、
橋りょう、金網などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1073.3 在庫18業種中4位）
27年の在庫は127.1で、同8.3%減と5年ぶりの低下となった。
これは、飲料用缶が上昇したが、
ガス湯沸器、金網などが低下したことによる。

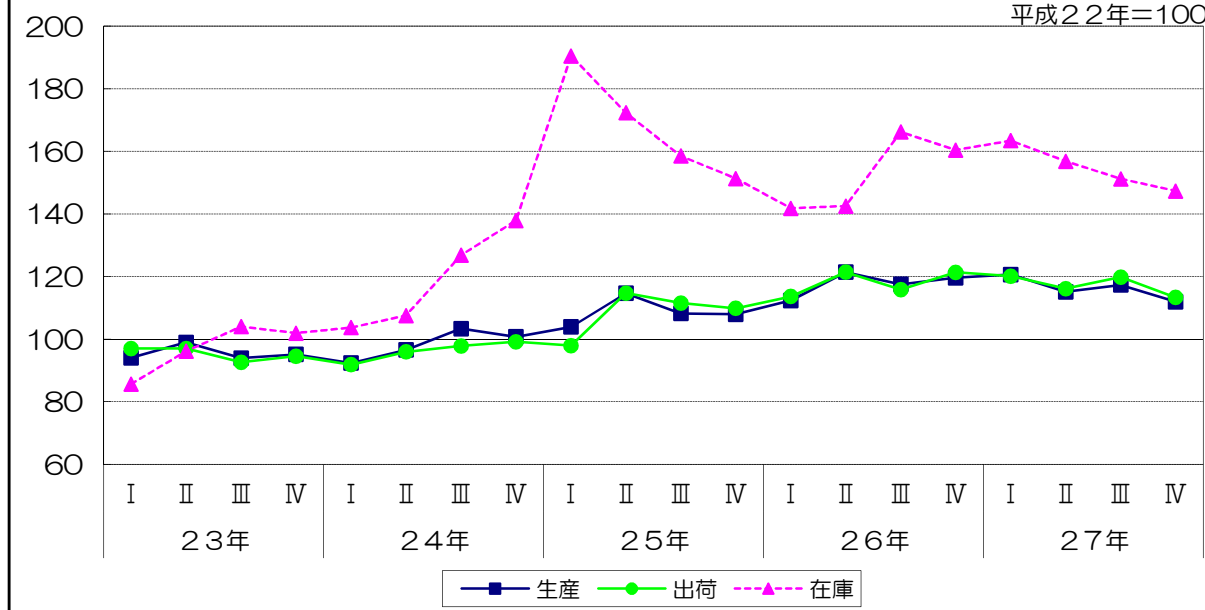
金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年	27年			
						I	II	III	IV
生産	95.0	100.4	108.6	117.6	115.9	120.6	115.1	117.3	111.9
前期(年)比	▲5.0	5.7	8.2	8.3	▲1.4	0.8	▲4.6	1.9	▲4.6
前年同期比	—	—	—	—	—	10.3	▲8.2	0.5	▲7.1
出荷	94.9	98.2	108.5	117.9	116.8	120.1	116.1	119.8	113.3
前期(年)比	▲5.1	3.5	10.5	8.7	▲0.9	▲1.0	▲3.3	3.2	▲5.4
前年同期比	—	—	—	—	—	8.1	▲7.3	3.8	▲7.0
在庫	92.6	125.8	130.4	138.6	127.1	163.4	156.8	151.2	147.3
前期(年)比	3.2	35.9	3.7	6.3	▲8.3	1.9	▲4.0	▲3.6	▲2.6
前年同期比	—	—	—	—	—	16.0	10.6	▲8.4	▲8.3

金属製品工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(3) はん用・生産用機械工業

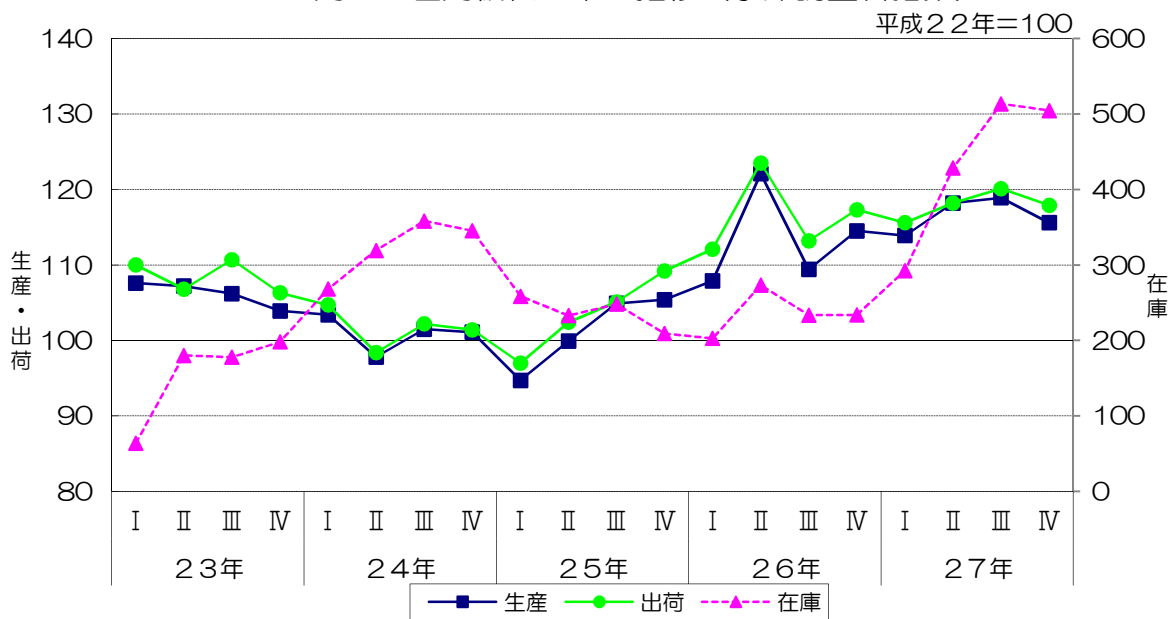
- ① 生産（付加価値額ウェイト776.0 生産19業種中3位）
27年の生産は116.8で、前年比3.4%増と3年連続の上昇となった。
これは、バルブ・コックなどが低下したが、
シヨベル系掘削機、クレーンなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト670.8 出荷19業種中4位）
27年の出荷は118.1で、同1.7%増と3年連続の上昇となった。
これは、バルブ・コックなどが低下したが、
クレーン、シヨベル系掘削機などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト667.7 在庫18業種中6位）
27年の在庫は475.8で、同105.3%増と2年連続の上昇となった。
これは、ファンコイルユニット、ポンプなどが低下したが、
シヨベル系掘削機などが上昇したことによる。

はん用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年				
						I	II	III	IV
生産	106.1	100.7	100.9	113.0	116.8	113.9	118.2	118.9	115.6
前期(年)比	6.1	▲5.1	0.2	12.0	3.4	▲0.5	3.8	0.6	▲2.8
前年同期比	-	-	-	-	-	3.9	▲0.9	11.5	▲0.9
出荷	108.4	101.5	103.2	116.1	118.1	115.6	118.2	120.1	117.9
前期(年)比	8.4	▲6.4	1.7	12.5	1.7	▲1.4	2.2	1.6	▲1.8
前年同期比	-	-	-	-	-	2.6	▲3.8	8.1	0.0
在庫	193.2	330.6	208.2	231.8	475.8	292.5	428.3	513.4	504.5
前期(年)比	82.6	71.1	▲37.0	11.3	105.3	25.1	46.4	19.9	▲1.7
前年同期比	-	-	-	-	-	33.7	57.4	131.6	105.3

はん用・生産用機械工業の推移（季節調整済指数）



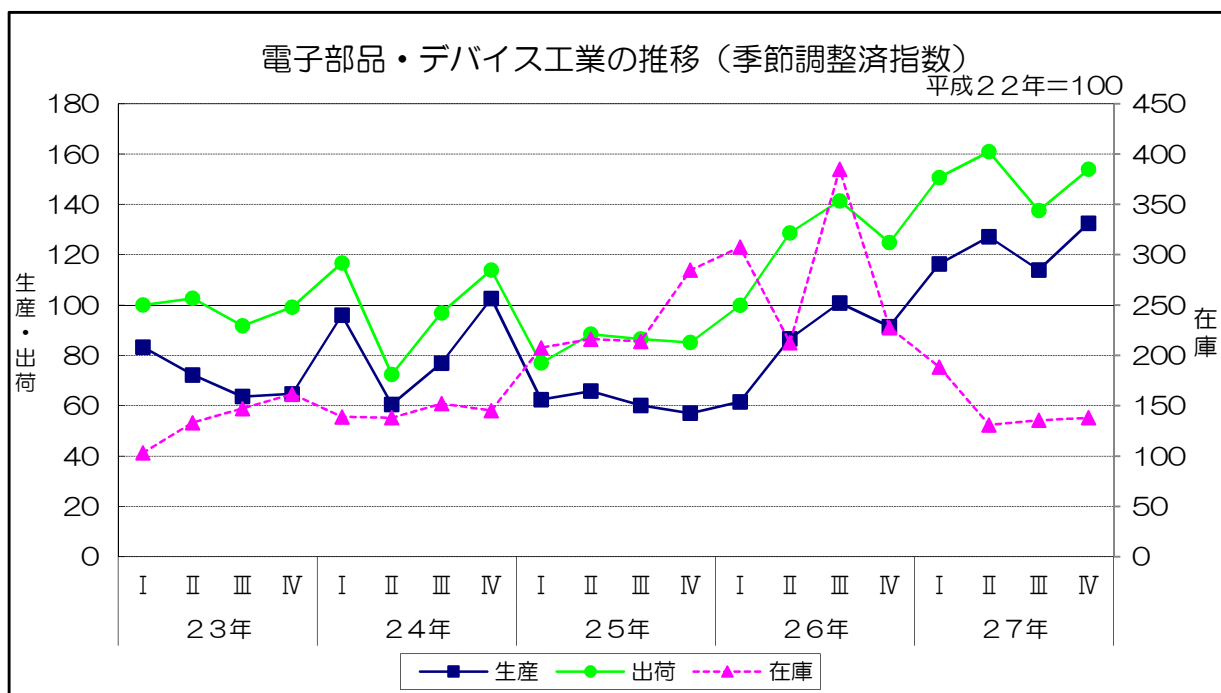
(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト345.0 生産19業種中8位）
27年の生産は122.4で、前年比42.0%増と2年連続の上昇となった。
これは、混成集積回路、整流素子などが低下したが、
トランジスタなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト379.4 出荷19業種中8位）
27年の出荷は149.8で、同20.2%増と2年連続の上昇となった。
これは、整流素子などが低下したが、
トランジスタなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト118.5 在庫18業種中16位）
27年の在庫は153.8で、同37.6%減と2年連続の低下となった。
これは、整流素子が増加したが、
線形回路などが低下したことによる。

電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	70.7	84.4	61.3	86.2	122.4	116.3	127.1	113.9	132.5
前期(年)比	▲29.3	19.4	▲27.4	40.6	42.0	27.2	9.3	▲10.4	16.3
前年同期比	—	—	—	—	—	95.8	52.6	7.9	38.9
出荷	98.3	101.1	84.2	124.6	149.8	150.7	160.9	137.5	153.9
前期(年)比	▲1.7	2.8	▲16.7	48.0	20.2	20.8	6.8	▲14.5	11.9
前年同期比	—	—	—	—	—	56.8	30.2	▲6.9	17.5
在庫	155.0	139.9	314.3	246.3	153.8	188.5	131.0	135.6	138.0
前期(年)比	90.0	▲9.7	124.7	▲21.6	▲37.6	▲17.2	▲30.5	3.5	1.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲38.2	▲41.8	▲61.2	▲37.6



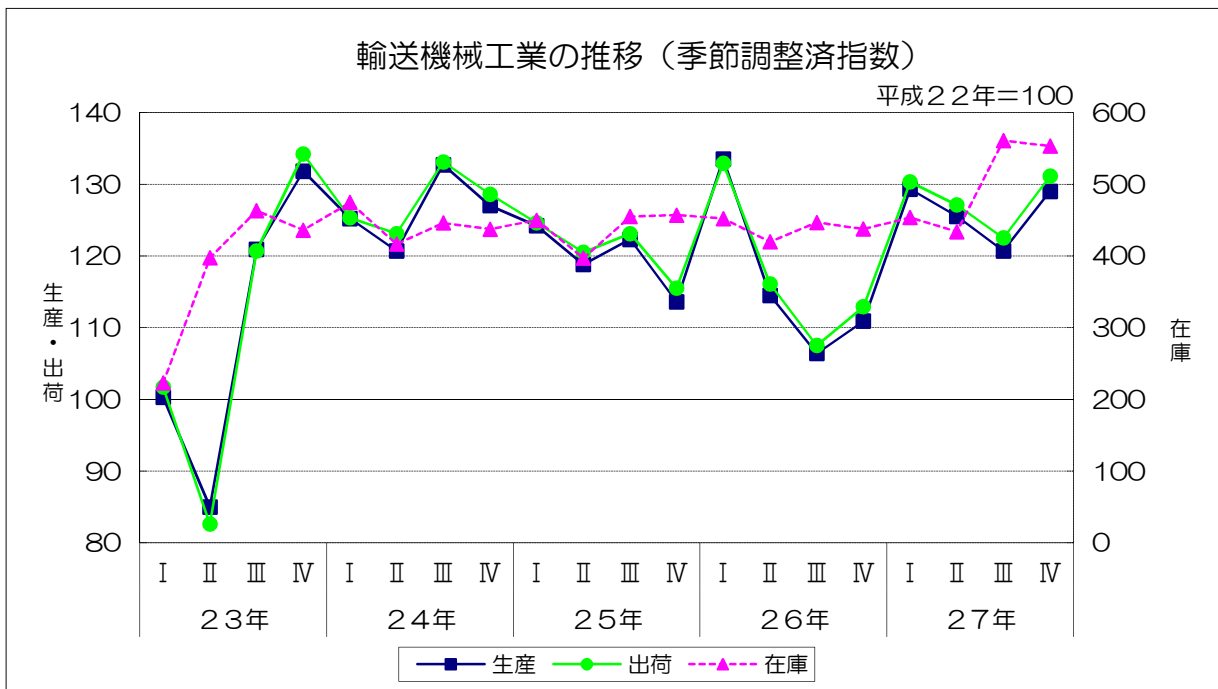
(5) 輸送機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト3112.3 生産19業種中1位）
27年の生産は126.4で、前年比9.1%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、シャシー及び車体部品、鋼船修理などが低下したが、
四輪自動車などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト2946.4 出荷19業種中1位）
27年の出荷は127.9で、同9.2%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、シャシー及び車体部品などが低下したが、
四輪自動車、エンジンなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト440.5 在庫18業種中8位）
27年の在庫は554.4で、同25.5%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、乗用車用エアコンが低下したが、
四輪自動車が増加したことによる。

輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年	27年			
						I	II	III	IV
生産	109.7	126.7	119.6	115.9	126.4	129.3	125.5	120.7	129.0
前期(年)比	9.7	15.5	▲5.6	▲3.1	9.1	16.6	▲2.9	▲3.8	6.9
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.1	10.8	14.0	13.0
出荷	110.2	127.9	120.8	117.1	127.9	130.3	127.1	122.5	131.1
前期(年)比	10.2	16.1	▲5.6	▲3.1	9.2	15.4	▲2.5	▲3.6	7.0
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.2	10.8	14.5	13.8
在庫	424.5	427.1	450.4	441.9	554.4	453.6	433.8	560.8	553.0
前期(年)比	20.9	0.6	5.5	▲1.9	25.5	3.7	▲4.4	29.3	▲1.4
前年同期比	-	-	-	-	-	0.0	▲0.1	28.5	25.5



(6) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト381.9 生産19業種中7位）
27年の生産は103.9で、前年比3.9%減と2年連続の低下となった。
これは、ほうろう鉄器が上昇したが、
生コンクリート、ガラス短繊維などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト427.9 出荷19業種中7位）
27年の出荷は99.8で、同4.2%減と2年連続の低下となった。
これは、ほうろう鉄器などが上昇したが、
生コンクリート、セメントなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト807.9 在庫18業種中5位）
27年の在庫は36.3で、同4.0%増と2年連続の上昇となった。
これは、遠心力鉄筋コンクリート製品、ファインセラミックスなどが低下したが、
道路用コンクリート製品、耐火れんがなどが上昇したことによる。

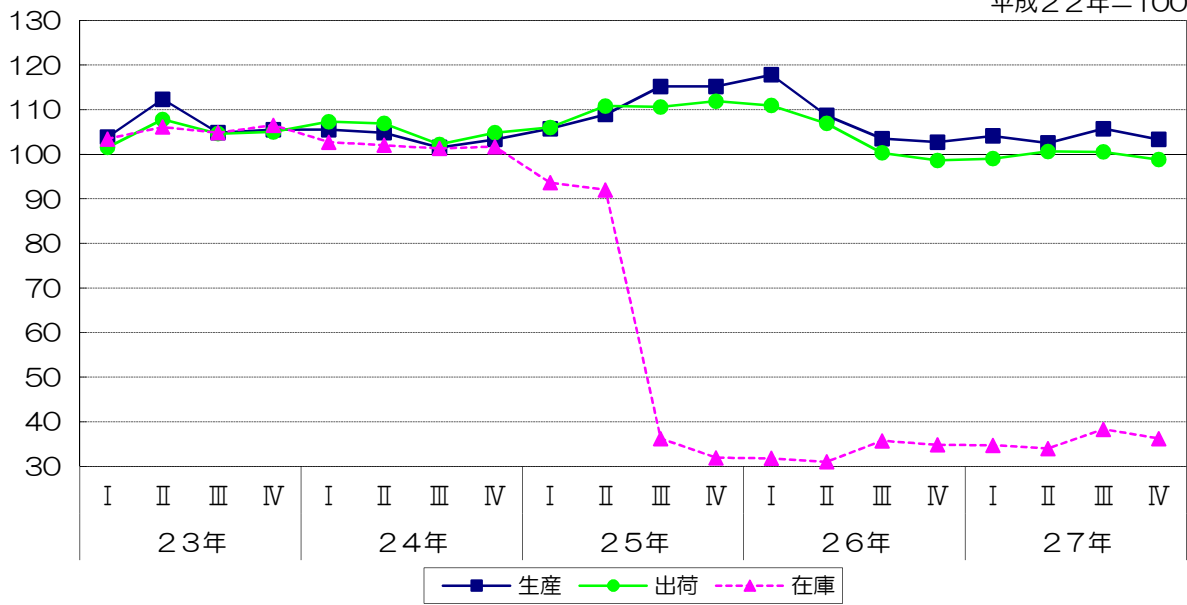
窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	106.5	104.0	111.4	108.1	103.9	104.1	102.5	105.7	103.3
前期(年)比	6.5	▲2.3	7.1	▲3.0	▲3.9	1.4	▲1.5	3.1	▲2.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲10.5	▲5.8	1.7	▲0.4
出荷	104.6	105.3	110.0	104.2	99.8	99.0	100.6	100.5	98.8
前期(年)比	4.6	0.7	4.5	▲5.3	▲4.2	0.4	1.6	▲0.1	▲1.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲10.7	▲5.3	0.1	▲0.7
在庫	108.0	103.2	32.1	34.9	36.3	34.7	34.0	38.3	36.2
前期(年)比	7.5	▲4.4	▲68.9	8.7	4.0	▲0.3	▲2.0	12.6	▲5.5
前年同期比	-	-	-	-	-	9.5	7.1	10.6	4.0

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



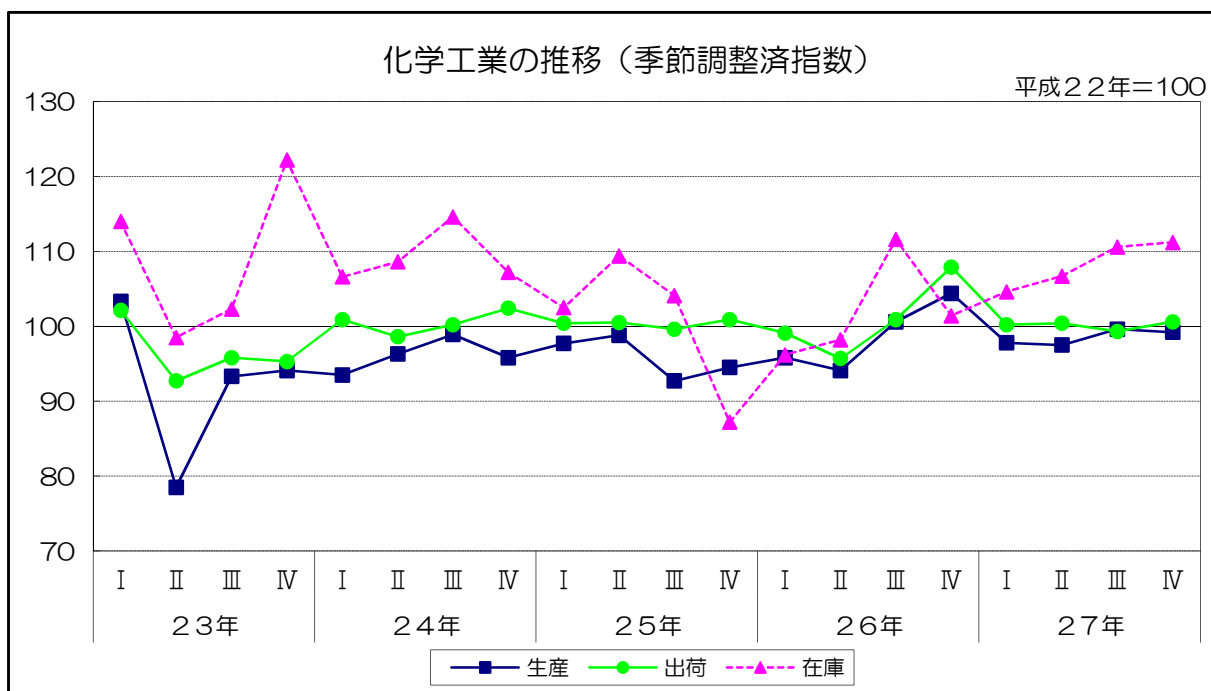
(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト631.9 生産19業種中5位）
27年の生産は98.6で、前年比0.1%減と2年ぶりの低下となった。
これは、ビスフェノールA、触媒などが上昇したが、
カーボンブラック、医薬品などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト535.1 出荷19業種中5位）
27年の出荷は100.2で、同0.7%減と2年ぶりの低下となった。
これは、ポリカーボネート、ジフェニルメタンジイソシアネートなどが上昇
したが、カーボンブラック、医薬品などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1337.6 在庫18業種中3位）
27年の在庫は108.6で、同9.8%増と2年連続の上昇となった。
これは、合成染料、ジフェニルメタンジイソシアネートなどが低下したが、
ビスフェノールA、触媒などが上昇したことによる。

化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年				
						I	II	III	IV
生産	92.4	96.2	95.9	98.7	98.6	97.8	97.5	99.6	99.2
前期(年)比	▲7.6	4.1	▲0.3	2.9	▲0.1	▲6.3	▲0.3	2.2	▲0.4
前年同期比	—	—	—	—	—	1.1	3.3	▲1.2	▲3.4
出荷	96.3	100.8	100.3	100.9	100.2	100.2	100.4	99.3	100.6
前期(年)比	▲3.7	4.7	▲0.5	0.6	▲0.7	▲7.1	0.2	▲1.1	1.3
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.9	4.7	▲0.7	▲5.0
在庫	124.3	109.4	88.2	98.9	108.6	104.6	106.7	110.6	111.2
前期(年)比	15.7	▲12.0	▲19.4	12.1	9.8	3.2	2.0	3.7	0.5
前年同期比	—	—	—	—	—	7.7	9.3	0.8	9.8



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1723.2 生産19業種中2位）
27年の生産は92.3で、前年比3.1%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、植物油脂、固型カレーなどが低下したが、
ビールなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1856.0 出荷19業種中2位）
27年の出荷は93.2で、同5.2%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、植物油脂、枝肉などが低下したが、
ビールなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1586.4 在庫18業種中2位）
27年の在庫は80.2で、同8.4%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、その他の調味料、砂糖などが低下したが、
焼酎、小麦粉などが上昇したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	23年	24年	25年	26年	27年				
						I	II	III	IV
生産	98.3	101.2	96.5	89.5	92.3	91.2	91.0	93.1	93.3
前期(年)比	▲1.7	3.0	▲4.6	▲7.3	3.1	1.0	▲0.2	2.3	0.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.7	3.6	5.5	3.5
出荷	97.0	105.4	97.9	88.6	93.2	90.3	91.7	94.2	95.4
前期(年)比	▲3.0	8.7	▲7.1	▲9.5	5.2	0.2	1.6	2.7	1.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.7	8.3	7.2	6.0
在庫	74.6	75.6	74.0	74.0	80.2	85.0	86.1	88.0	89.0
前期(年)比	▲17.6	1.3	▲2.1	0.0	8.4	4.6	1.3	2.2	1.1
前年同期比	-	-	-	-	-	17.2	0.1	8.1	8.4

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100

